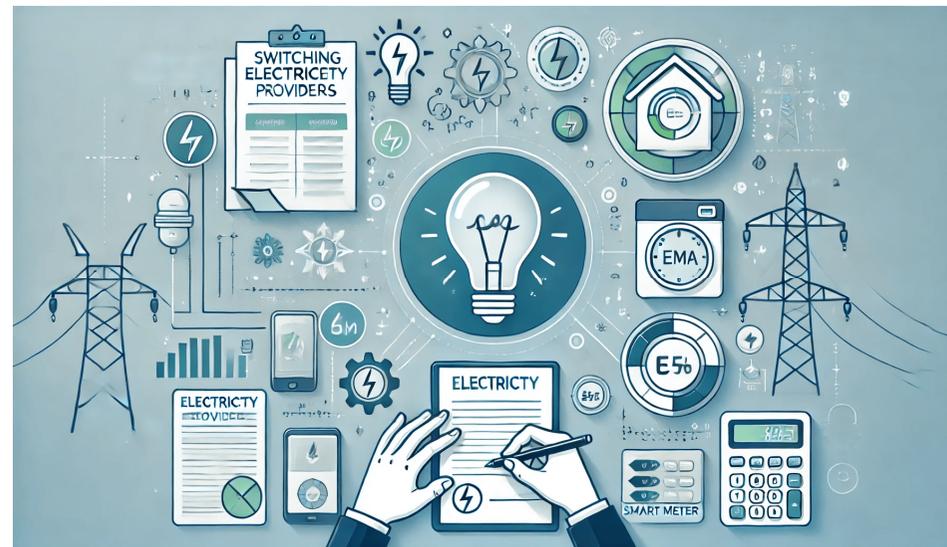


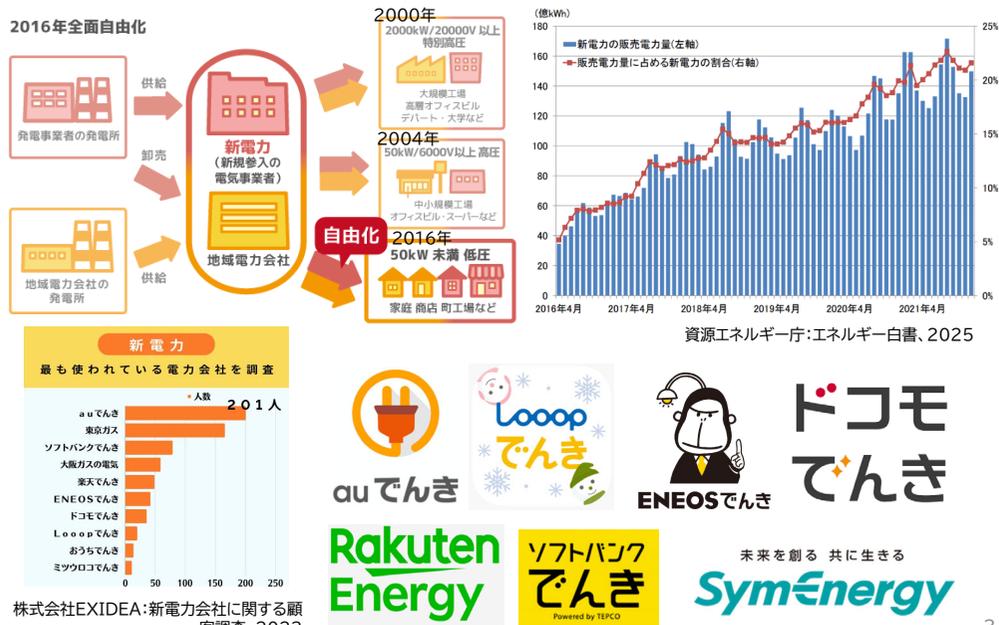
# 地域に恵みをもたらす電力事業とは？ —日本版シュタットベルケとしての地域新電力—

岡山大学 環境生命自然科学学域  
(工学部 都市環境創成コース)  
教授 鳴海大典

## あなたが契約している電力会社はどこですか？

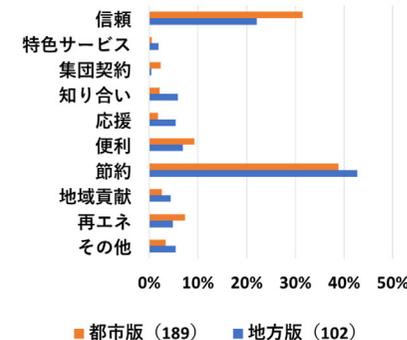


## なぜ電力会社を選べるのか？

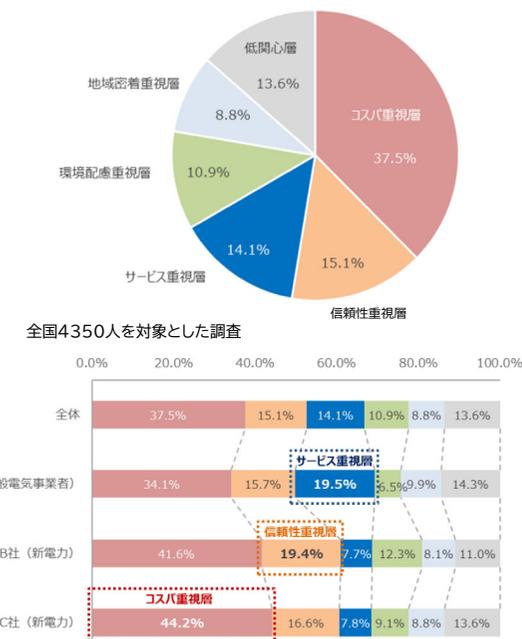


## 電力会社を選ぶ理由

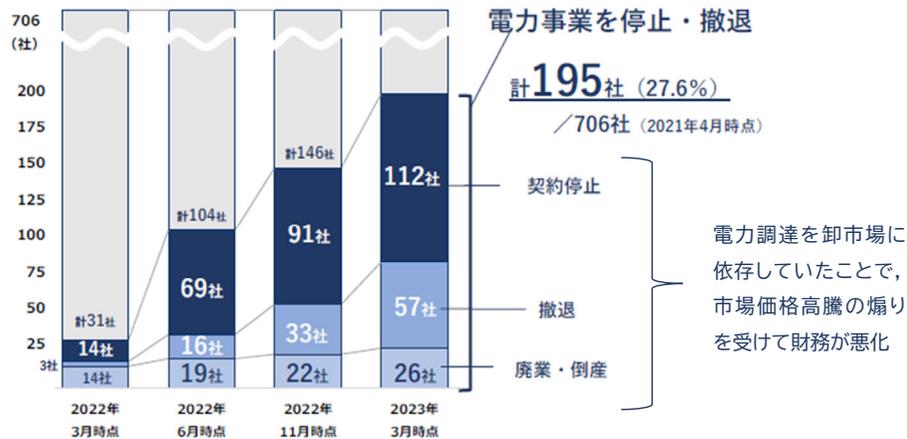
### 変更時に重視した内容



深澤菜、大塚彩美、土屋依子、鳴海大典: 日本版シュタットベルケの在り方に関する研究 - その2 新電力会社への代替意向に関するアンケート調査 - エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, No.38, 2022年1月



## 新電力会社の事業停止や撤退

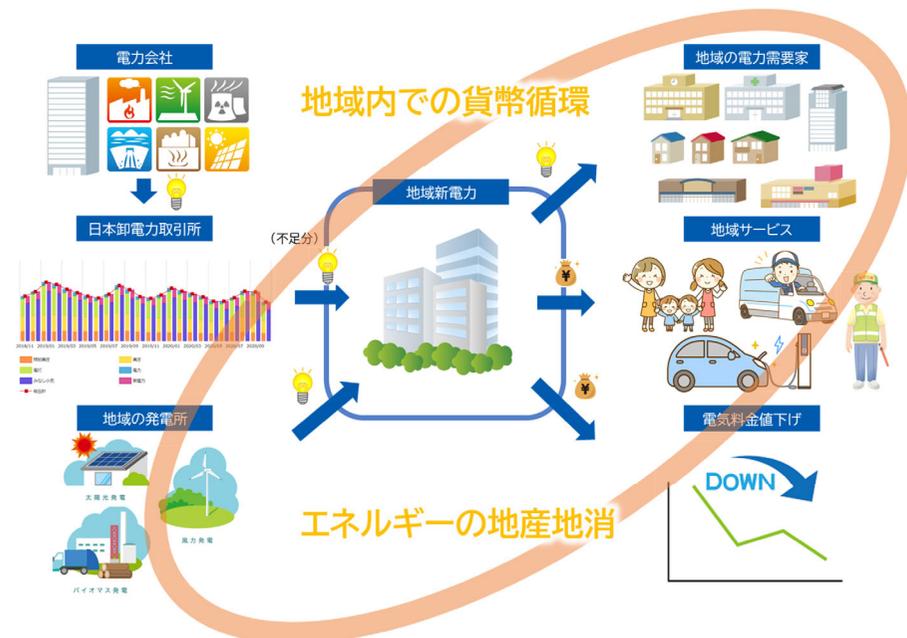


電力の小売自由化以降、多くの事業者が電力事業に参入したが、近年は事業停止や撤退が相次いでいる。

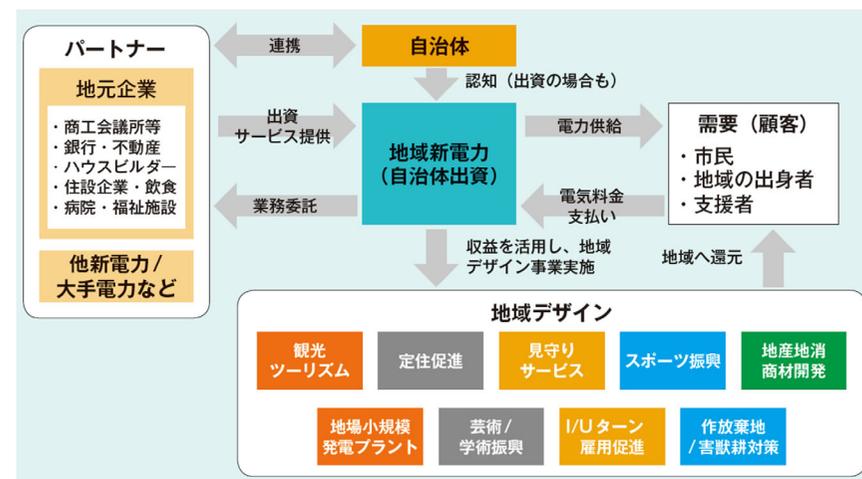
## ではどうすれば良いのか？



## 地域に恵みをもたらす電力事業



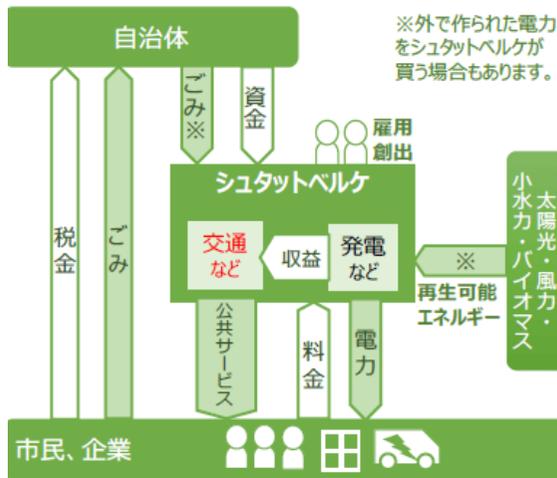
## 地域に恵みをもたらす電力事業



村谷：地元密着こそが地域新電力の勝ち筋、事業構想, 2021

自治体が事業に関与することで、過度に利益を追求せず、得られた利益は地元還元する発想で事業展開できる。また、地元が発電源を確保することで、できるだけ地元にお金を落とす仕組みを作ることができる。

## シュタットベルケの役割

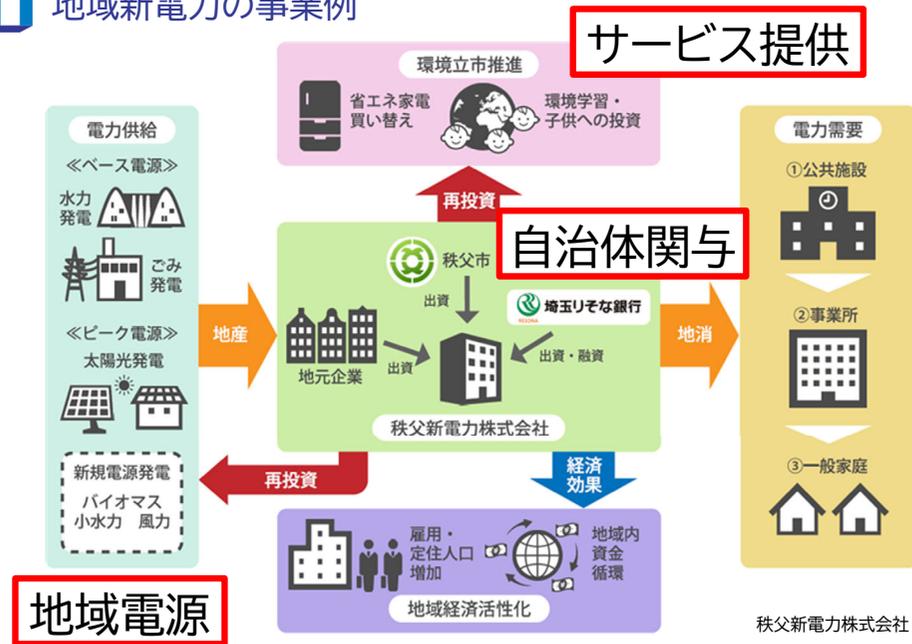


シュタットベルケ名	電力	ガス	熱	上水道	下水道	廃棄物	通信	バス	LRT	サービス	モビリティ	エネルギー	ビル	駐車場
Wuppertaler Stadtwerke	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Bocholt	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Mühlheim an der Ruhr	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Halle (SWH)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Potsdam	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Erfurt (SWE)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Eichsfelderwerke (EW)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Frankfurt (Oder)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Schwedt	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Annaberg-Buchholz	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Werdaun	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Stadtwerke Zittau	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

稲葉:シュタットベルケ~自然やごみのエネルギーで地域を支え、地球を守るしくみ~, 2021

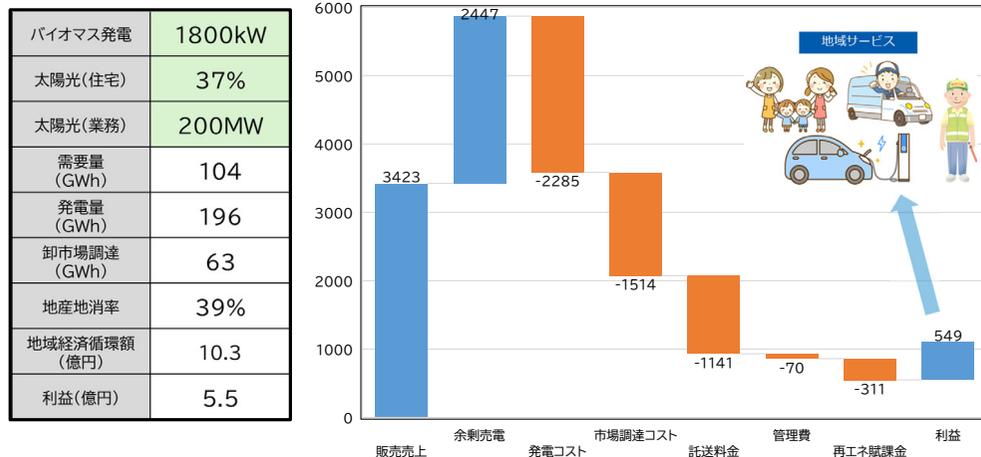
ドイツでは2018年12月現在, 1,474のシュタットベルケが存在しており, 幅広い事業を展開するものもある。

## 地域新電力の事業例



## 真庭市に地域新電力ができるとどうなるか？

契約世帯80%の時の事業収支



- 5.5億円の利益が期待される
- 得られた利益は地域サービスの原資として有効活用する
- 販売単価を1円/kWh変化させることで売上は約1億円変化する

テーマ1

地域エネルギーの利益をどのように  
地域に還元してほしいか



## 契約プランの選好調査(質問)

あなたが選択したいと思う契約プランを1つ選んでください。

- ① 電気料金が安いプラン (電気料金最安)
- ② 地域の再生可能エネルギーを最大限利用できるプラン (再エネ地産地消)
- ③ 地域電力会社が提供する地域サービスを充実させるプラン (地域サービス)

各契約プランの特徴

項目	家計	地域経済	環境	安定性
項目の説明	各世帯が支払う電気料金	地域経済への貢献度	地球環境に与える影響	電気料金や企業存続の安定性
①電気料金最安	◎	×	×	△
②再エネ地産地消	△	○	○	○
③地域サービス	△	◎	○	○

17

## 契約プランの選好調査(結果)

地域電力会社のシミュレーションによって得られた結果を基に、地域電力会社が供給する電力プランを提示し、プラン選好を調査した

- ① 電気料金が安いプラン (電気料金最安)
- ② 地域の再生可能エネルギーを最大限利用できるプラン (再エネ地産地消)
- ③ 地域電力会社が提供する地域サービスを充実させるプラン (地域サービス)

真庭市を対象とした仮想的な評価例

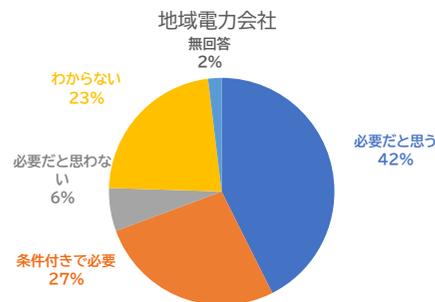
(赤字の料金は一例を示すものであって実際の金額は状況や条件によって変化します)

項目	電気料金	エネルギー自給率	地域経済循環率
項目の説明	各プランで電気の使用量に応じて発生する料金の単価	調達電力量のうち、地域内の発電所から調達する割合	支出金額のうち、地域内のへ支払う金額の割合
①電気料金最安	30 円/kWh	0%	7%
②再エネ地産地消	+3 円/kWh	36%	40%
③地域サービス	+4 円/kWh	36%	45%

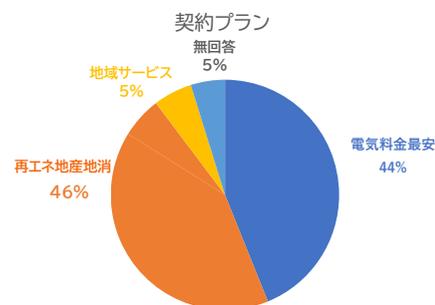
※ 4人家族の年間電気使用量の目安は約5,500kWh → +3円は16500円/年

18

## 契約プランの選好調査(結果)



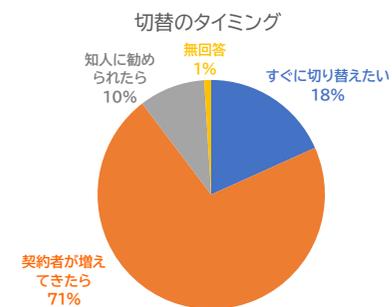
【地域電力会社が必要か】  
「必要だと思う」が42%、「条件付きで必要だと思う」が27%  
→今まで電力会社を切り替えたことがない人も必要だと感じている



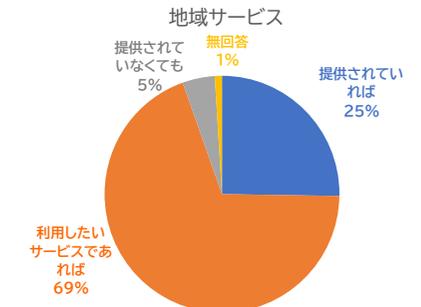
【希望する契約プラン】  
再エネ地産地消を希望する人が電気料金最安と同程度存在  
→地域や環境に配慮してプランを選ぶ人も多い

19

## 契約プランの選好調査(結果)



【切替のタイミング】  
「すぐに切り替えたい」が18%、「契約者が増えてきたら」が71%  
→契約意思はあっても、実際に契約するには慎重である人が多い



【契約と地域サービスの関係】  
「利用したいサービスであれば」が69%  
→地域住民の需要に寄り添った地域サービスを提供することが重要

20

## 契約プランの選好調査(結果)

目的変数:希望する契約プラン

項目	数値
的中率	63.3%
有効数	251

②再エネ地産地消  
③地域サービス

①電気料金最安

「地域経済重視型」

「電気料金重視型」

説明変数:関係しそうな項目ごとに、選択肢を2つに分ける

21

## 契約プランの選好調査(結果)

項目	地域経済重視型	スコア	電気料金重視型
地域サービスと電気料金	値上げでも、同じなら	0.744	加えて値下げ、値下げに特化
愛着	感じている、やや感じている	0.440	どちらでもない、あまり感じていない、感じていない
契約の意思	契約したい	0.401	契約したくない
温暖化への危機	強い危機感、危機感をもっている	0.321	あまりもっていない、もっていない
市民出資	仕組みは必要	0.285	仕組みは必要ない
太陽光発電	設置していない、わからない	0.224	設置している
省エネ行動	かなり意識、意識	0.172	どちらともいえない、あまり意識していない、取り組んでいない
実施主体	地域内企業	0.162	ノウハウが豊富な企業、行政、特に希望なし
電力会社変更	変更した、検討のみ	0.133	検討なし、知らなかった、分からない
変化への反応	先駆者として行動	0.079	慎重、変化に抵抗
地域電力会社への考え	必要	0.070	条件付きで必要、必要なし、分からない
年齢	40歳以上	0.070	20歳代から30歳代
オール電化	検討なし、分からない	0.055	オール電化、検討
性別	男性	0.051	女性
つながり	感じる、やや感じる	0.046	どちらともいえない、あまり感じていない、感じていない

22

## 契約プランの選好調査(結果)

- ・ 地域電力会社が必要と考えている人が 7割 ほど存在する。
- ・ 契約プランの希望については「地域経済重視型」と「電気料金重視型」は同程度存在する。
- 「地域経済重視型」
  - ・ 地域サービスの需要度が高く、地域へ愛着を感じている人が多い。
  - ・ 温暖化への危機感を持ち、省エネ行動を積極的に行っている人が多い。
  - ・ 「現在の地域へ」の地域サービスを求めている。
  - ・ 普段の購買行動において、「サービスや質」を重視している。
- 「電気料金重視型」
  - ・ 「現在のあなた」への地域サービスを求めている。
  - ・ 普段の購買行動において、「価格の安さ」を重視している。

23